記者発表資料

平成２５年６月４日
湯沢河川国道事務所

防災ヘリにより秋田駒ケ岳など調査
～大学、気象台、県、国が共同で調査します～

約40年周期で噴火を繰り返している秋田駒ケ岳（前回の噴火から今年で43年経過）や八幡平山系の秋田県側の融雪後の山腹崩壊状況について、防災ヘリにより調査を行いますので、お知らせします。

本調査は、秋田大学、秋田地方気象台、県河川砂防課、国交省湯沢河川国道事務所が共同で行います。

■調査行程予定

日時：６月１０日（月）
１回目調査：１１時００分～１２時００分（予定）
２回目調査：１３時３０分～１５時００分（予定）

場所：直轄砂防エリア及び秋田駒ケ岳周辺

参加人数：１７人

※防災ヘリは、国交省災害対策用ヘリコプター「みちのく号」を利用します

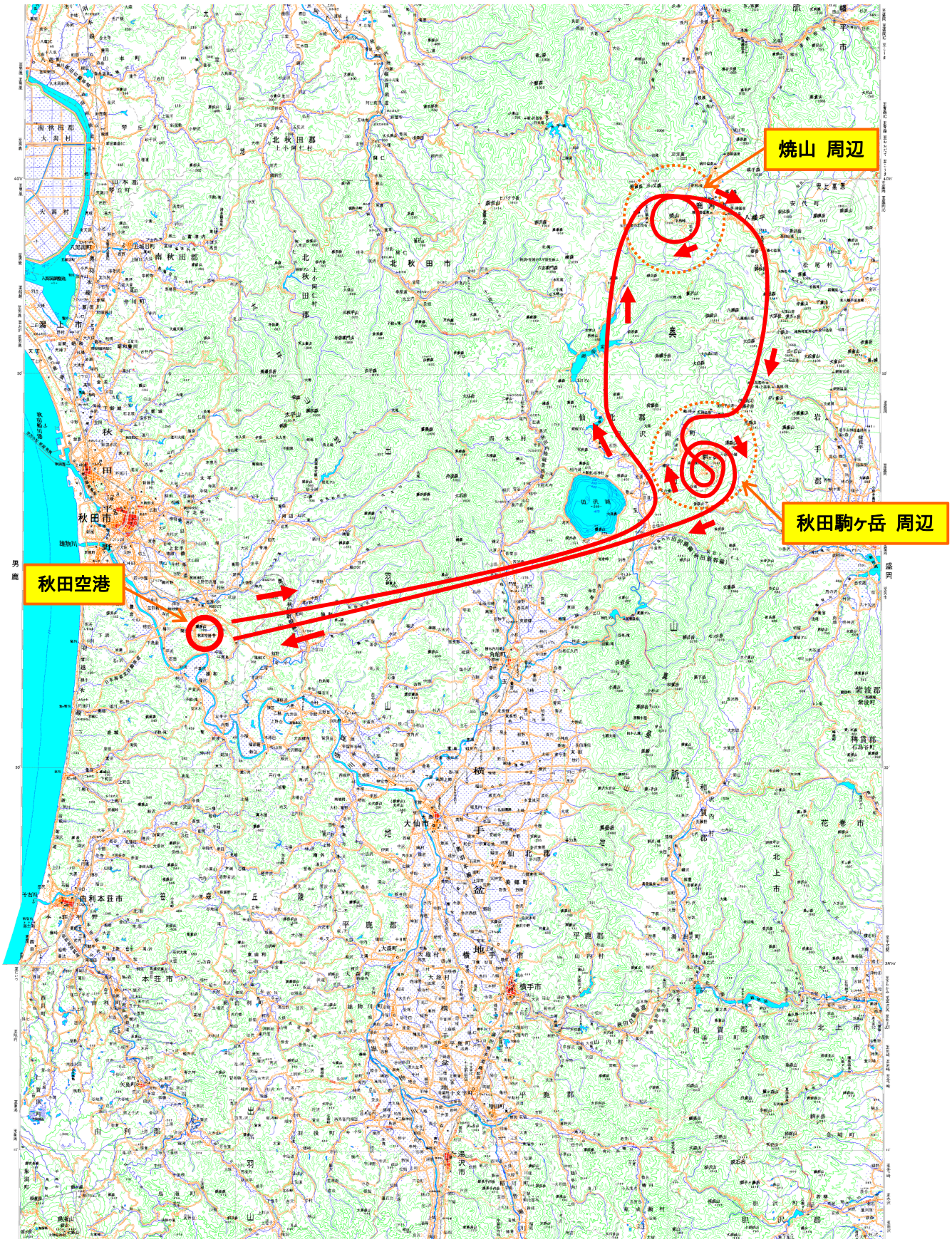
※気象状況等によっては、調査を延期することがあります。

当事務所ＨＰ URL（http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/）

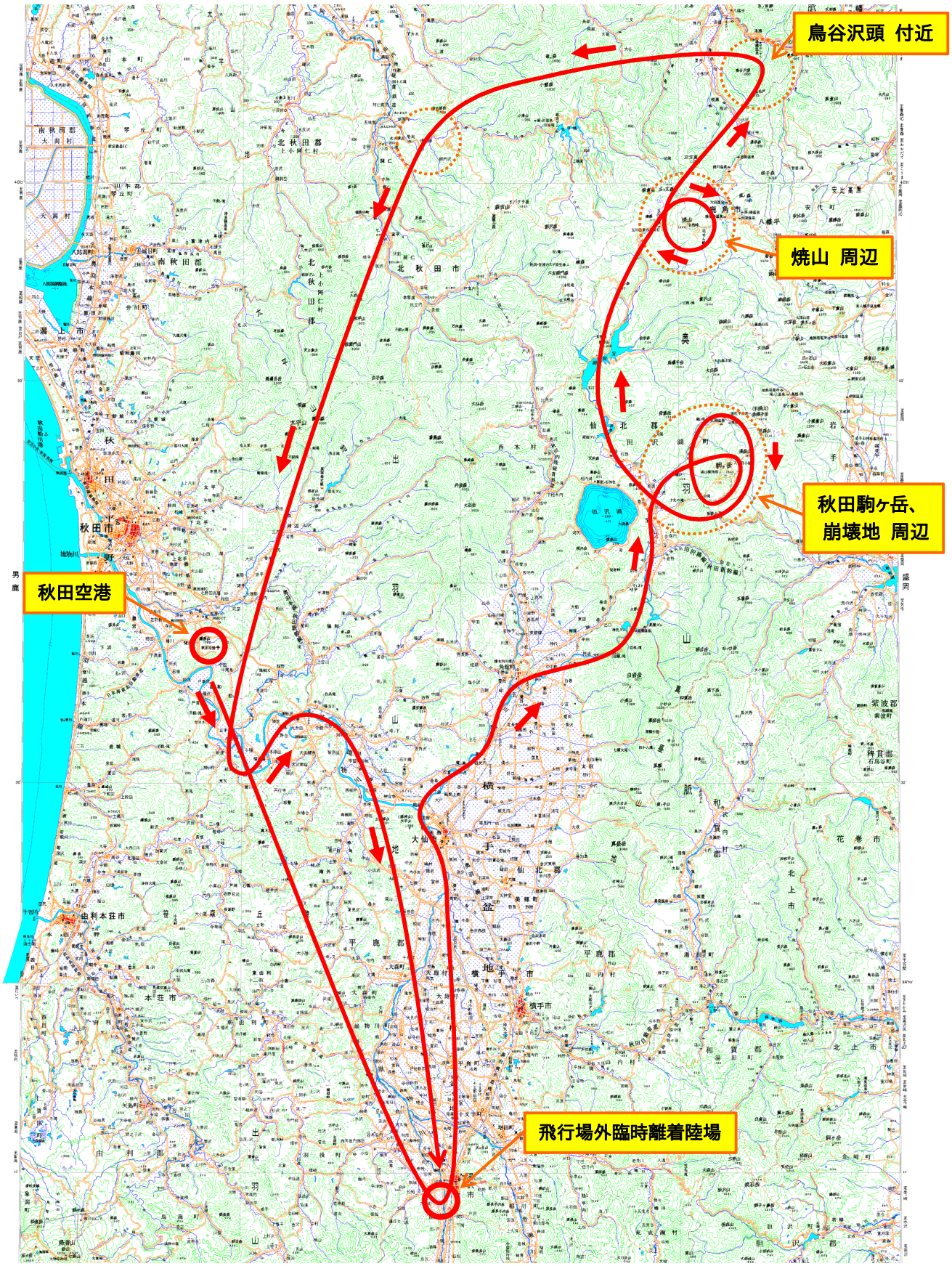
※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢支局

《問い合わせ先》
国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所
湯沢市関口字上寺沢６４－２
電話０１８３－７３－５５４４
技術副所長　土田（つちだ）　恒年（つねとし）（内線２０４）
調査第一課長　畑山（はたやま）　作栄（さくえい）（内線３５１）

飛行ルート図（1回目）



飛行ルート図（2回目）





平成9年5月 先達川上流土砂崩落箇所【2011.10撮影】



秋田駒ヶ岳南部カルデラ（画面中心は溶岩流）【2011.10撮影】